

ガス供給量から見る 伊賀市の発展

名阪国道開通によって伊賀市の経済的发展を後押しし、
それに伴って上野ガスの販売量も増加

■ 伊賀市のLPG、LNGと暮らし・産業

伊賀市のガスエネルギーは家庭用だけでなく、自動車の燃料、工場・病院・公共施設の各種燃料としても利用されており、暮らしと産業を支えている



【伊賀焼 ガス窯】



【天然・L Pガス自動車】



【ガス空調（市内小中学校）】

■ 伊賀地域のガス供給の歴史

昭和3年	都市ガスの販売開始
昭和34年	L P ガスの販売開始 同時にモータリゼーション化が進む (手押車から自動車運搬へ移行)
昭和37年	石炭ガスから石油ガスへの転換
昭和40年	名阪国道が開通し、L P ガス販売の大動脈となる
昭和41年	LPガスの供給エリアを 名阪国道で結ばれている伊賀と亀山 とする
平成10年	天然ガス基地「ゆめが丘工場」が完成し、ゆめが丘クリイットに天然ガス供給開始

※ 出典：上野ガス株式会社提供資料

■ 伊賀市へのガス供給と名阪国道



～上野ガス50年史より～

昭和40年に、亀山市・上野市・天理市を結ぶ名阪国道の第一期工事が完成し、伊勢・伊賀・大和の内陸を東西に**本格的自動車道が開通**した。これによって**閉塞的であった「伊賀の上野」にようやく新鮮な希望の空気が吹きぬける**ところとなった。

■ LPガス販売量の着実な増加



※ 出典：上野ガス株式会社提供資料